

八幡平市

4年に1度の大運動会あしるオリンピック

安代地区大運動会のあしるオリンピックは10月7日、田山グラウンドで行われました。この運動会は、昭和63年のスキー国体「岩手あしる国体」の開催を記念して始まったものです。4年に1度開催され、今回で6回目を迎えました。開会式で山本栄大会長は「自信と誇りを持って競技し、親ばくと交流を深めよう」と



↑オリンピックの幕開けを飾った「ボール送り」 ↑選手たちへの応援にも熱が入りました



4人一組が息を合わせて走る「むかでりレー」

あいさつ。前回優勝した田山2区の安保毅君(田山中1年)が「最後までやりぬくことを誓います」と元氣いっぱい選手宣誓しました。60歳以上が参加する「ボール送り」で、いよいよ運動会の幕開けです。安代地区10チームの対抗競技と自己ベストを目指す個人オープン競技、来賓レースの合計10種目で熱戦が展開されました。選手たちは、秋晴れのもと心地よい汗を流し、選手には大きな声援が送られました。競技の結果、浅沢が第3回大会以来2回目の優勝を獲得。2位は畑、3位は田山4区となりました。

西根中学校の2年生は9月28日、市内の事業所などで職業体験学習を行いました。これは、職業体験を通して就業意識を高め、将来の進路に役立てようという行われたものです。西根病院では6人の生徒が体験。生徒たちは、患者の手足を洗いながら、会話を弾ませました。患者たちは「若い人たちに元気をもらった」とこりこり。参加した中田莉緒さんは「患者さんの笑顔が励みになった」と意欲を高めました。



学校生活の出来事を話しながら会話を弾ませる生徒たち

西根中の生徒が職業体験で夢に一步近づぐ



ビームライフルなどが参加者の人気を集めました

市民が運動に親しみ、健康増進につなげてもらうと、市スポーツ・レクリエーション大会は9月30日、市総合運動公園で行われました。種目は体力測定のほか、キックターゲットやグラウンドゴルフなど全部で9つ。ビームライフルが年齢を問わず人気を集めました。大会は好天に恵まれ、延べ547人が参加。参加者はたくさん種目を楽しみながら、スポーツで心地よい汗を流しました。

スポーツを楽しみながら健康と体力アップ